

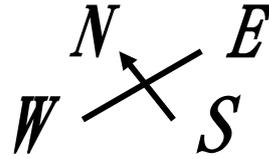
2017年12月1日

第283号

藤 沢

# エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議  
(略称) 藤沢エコネット



<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: [aoyagipc@jcom.home.ne.jp](mailto:aoyagipc@jcom.home.ne.jp) 青柳

FAX 0466-87-4922

主  
な  
記  
事

- ・児童のぜん息は深刻 ・安心して食べたいお肉
- ・福島原発事故飯館の今と将来を考える
- ・ワクチンの副作用 ・放射能測定値
- ・ジェット気流発見にまつわる話

## 第22回 環境フェア Eco<sup>2</sup>まつり 2017 に参加を！

今年で22回目になる、ふじさわ環境フェアを12月9日土曜日に市民会館で開催します！

前身のエコネット展から関わっている自分ですが、これほど市民と行政が一体になって行っている市の環境フェアは他に知りません。もちろん満点が頂ける内容までは、まだまだ道が遠いですが（例えば中高生の来場が少なく、どうやって惹き付けるかなど）、これまでの蓄積で徐々に多くの市民の方に伝わり、初めて来場して頂ける方も年々増えているようです。

今年は環境フェア企画運営委員によるガイドツアーを増やし、新たなガイドも登場して、お子さんの参加が多いツアーですが、より魅力的でわかりやすいものにします。こちらに参加するとスタンプラリーやクイズラリーのクリアがより簡単になるようです！

前回まで2会場に別れていた屋外も、市民会館前庭に出展ブースを集めて、一体化の演出を狙っています。飲食店もありますので、どうぞご利用下さい。放射能に関する学習会のみ、北口の郵便局隣のNDビル6階ですが、こちらもぜひご参加下さい。

燃料電池車の同乗体験（小学生は保護者同伴、同時に3名まで）も引き続き行い、お昼には環境クイズ王決定戦も開催。例年通り、第1展示と第2展示ホールでの各団体の展示や体験がありますので、朝9時50分の屋外でのオープニングイベントから午後3時までの閉会宣言まで、多くの時間を環境フェアに割いて頂けるとありがたいです。

さて来年も開催したい環境フェア、前述の通り中高生の来場や参加が極端に少なく、20年以上前に高校の環境部として参加した自分としてはかなり残念です。もちろんこの世代が環境配慮に関心がない事もないようで、ならばどうやって環境フェアに関わってもらえるのか、これが委員長として自分の課題であります。どなたか良い案など、ご指南下さいませ。

加えて藤沢駅周辺、商店街との連携など、より充実した環境フェアを目指します！

それでは当日、市民会館でお会いしましょう♪

(ふじさわ環境フェア実行委員長 青木正美)

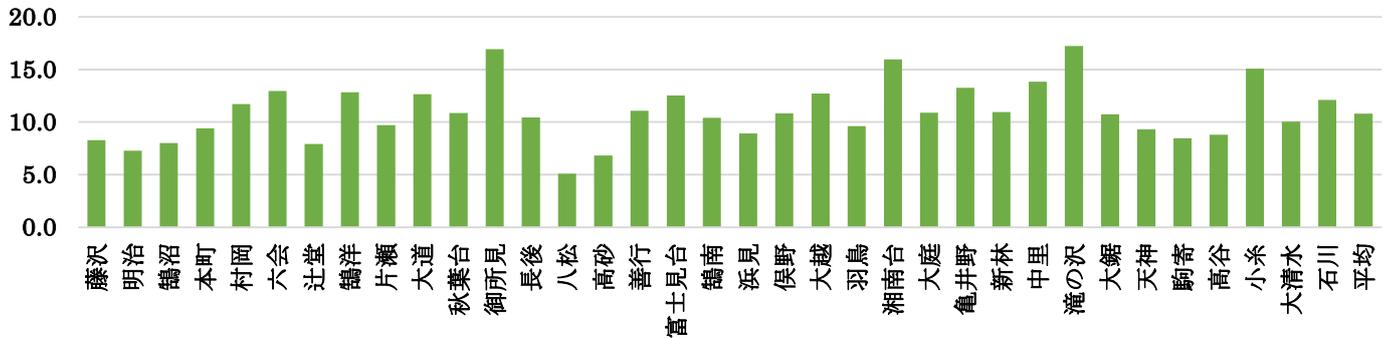


湘南台駅地下広場のクリスマスツリー

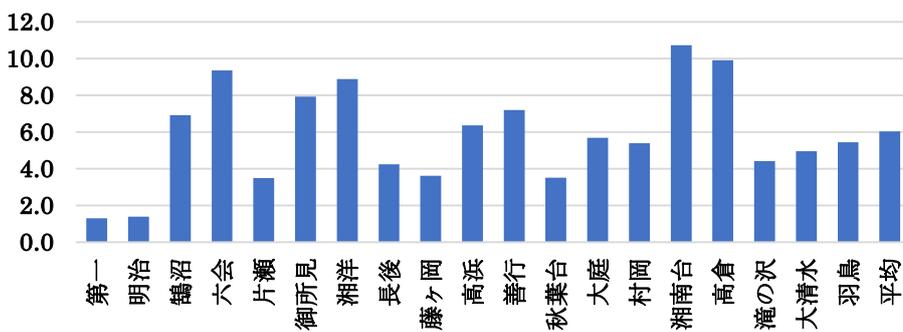
## 児童のぜん息は深刻

藤沢市教育委員会の2016年保健統計より、小学校と中学校のぜん息罹患率を算出しグラフにしました。毎年お知らせしていますが、小学生のぜん息患者は年々増えて、平均が1割を超えています。(青柳)

小学校別ぜん息罹患率(%)



中学校別ぜん息罹患率(%)



## 安心して食べたいお肉

産直運動に取り組んでいる新日本婦人の会の「食の安全学習会」に参加しました。愛川町で安全なおいしい肉をつくっている産直センターの方が、ウインナーソーセージの比較実験などをしながらお話ししました。

『食べたものが身体を作っていく』子どもが離乳食を始める時になんとなく気にし始めました。その子が中学生になり、1年に10cmの背が伸び、身体もどんどん大きくなる成長期になって、何をどう選んで食べていくか「選ぶ力」の大切さを実感しました。

今回は『安心して食べたい』ということで、豚肉を中心にいろいろな話を伺いました。どんな豚舎でどんな餌を食べて成長していくのか写真パネルを通してお話してくださいました。一番驚いたことは、豚舎の中は冷暖房完備、微生物を繁殖させた壁に豚舎内の空気を通すことにより脱臭・浄化がなされ外に空気を排出しているということです。生産性を上げる事でなく、自然環境の事、消費者の事、豚の健康の事も考えている生産者の愛情を感じました。生産者の方々と交流が私の安心につながりました。私の末っ子もまだまだ成長期、日々の食事を大切にし、作る人の愛情を感じながら、心身共に健やかに成長していくことを願っています。(泉山ゆかり)



## 福島原発事故放射能公害地域

日本大学系長教授による講演が11月4日に日大で行われた。教授は長い間、飯館村の暮らしや村おこしに携わってきたが、原発事故が起きた日からは支援のために、富士山麓の施設でサマーキャンプを行うなど力を注いできた。

（要旨）飯館村は放射能による汚染が高い地域で、酪農家もたくさんいた。事故が起きた翌年2012年に村民にアンケートを行い、生活再建と復興のための施策提案を行った。

7項目の提案で「分村建設の法的整備《原発災害復興二拠点居住権》の補償、避難・分村建設・還村の三権の保障」「二重住民票の補償」などを提案した。

アンケートによると放射能公害による保障・賠償は最も多く73%、次いで長期的な健康管理59%、そして、徹底的な除染49%、安心して暮らせる移転先の検討46.9%、村民の意見を取り入れた復興プランの再構築41%とあった。今年11月2日のデータは県内外に避難者89%であり、村内には1割が残りその半数は住宅取得か親戚宅に居住している、補償金によるものかとみられている。他は借上住宅、復興住宅、仮設住宅などである。

地域を守るには、地縁コミュニティが大切で60代～70代の人が集落の担い手となっている間は地域を守っていかれるが、次の世代はどうなるか？

土壌の汚染は3.11当時のハウス内は汚染されていないため、究極の支援策として野菜作りをやっている。

今年7月に計ったナス農地の土壌は深さ15～20cmでセシウムが4617マイクロシーベルト( $\mu\text{sv/h}$ )あり、5～10cmでは2758 $\mu\text{sv/h}$ で表層を除染しても深く浸みこんでいて深刻である。水源地のため池の淵の土壌はセシウムが0.5cmで13000ベクレル(Bq)あり5～10cmでは3300Bqと低下した。これは水田に移行したと推定される。

スギの木材は芯まで浸みこんでいて樹皮よりも高いが木には基準がない。森林は再生をどうするか見当もつかない、このままだと斜面が崩れたり、汚染土の上に木が生え、落ち葉も多量のセシウムが含まれている。宅地に裏山がある場所では地中にセシウムが存在し帰還後も農地の活用は厳しい状態にある。

チェルノブイリの汚染と比べると30km圏内は毎5ミリシーベルト(msv)以上は居住禁止ゾーンとなっているのに対し福島では、1～20msvで避難指示解除、20～50msvで居住制限区域、50msv以上で帰還困難区域となっている。

避難解除後の課題は帰村定住、二地域居住、村外定住の多様な村民の居住選択権の保障や森林火災が心配で森林再生100年計画作成など5項目を挙げている。 (日比 遥)

## ワクチンの副作用

武田問題対策連絡会の第8回総会で、「ワクチンの副作用について」バイオハザード予防市民センター共同代表 歯学博士、臼田篤伸氏の講演が行われました。

体を守る白血球、ワクチンの副作用が起きるメカニズム、ワクチン成分が血液-脳関門を通過するプロセス、自閉症の人の脳細胞「ミクログリア」が過剰作用、「ヒトパピローマウイルス感染予防接種」の危険性などワクチンの副作用について詳しいお話をきくことができ、深く学習することができました。

子宮頸がんワクチンが9年6か月しか効果がないって知っていましたか？しかも15種類のがん細胞のうち2種類しか防ぐことができない。なので子宮頸がんワクチンでは打っても予防できない。しかも取り返しのつかない重篤な副作用です。

また、0才児、生後2か月からワクチンを打つことのリスク、影響が大きいことがわかり大変驚きました。

脳が未完成(脳関門が未熟)な低年齢児ほど危険性が高いそうです。原因不明や生まれつき、先天性だといわれている自閉症、発達障がい、川崎病、ALS、1型糖尿病などと関連している。0歳児からの予防接種過密スケジュールが国民全体をワクチンに駆り立てているといっても過言ではない。インフルエンザワクチンも高齢者は、毎年打つことが必要とされていますが、ワクチンの添加物・アジュバンドに含まれるアルミニウムの脳への影響で認知症のリスクが増すそうです。

ワクチンの販売で巨大な利益をあげる大製薬メーカー。政治との関りについて、またマスコミも真実の報道を行うことの重要性が問われているのではないのでしょうか？ (N. K)



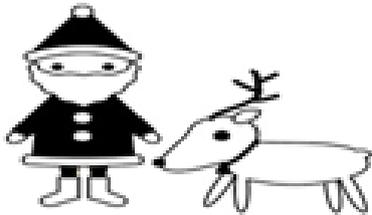
ECONET INFORMATION

ジェット気流発見にまつわる話  
(シリーズ16) 大石和三郎が夢見たもの

大石が高層の強風を発見したころ、アメリカやヨーロッパの気象学者は大石の観測について無知だった一方、日本の軍部はこの事実を知って戦争の手段として利用することを考えた。軍国化が進む時代の中で、館野高層気象台の役割にひとつの使命が課せられた。風船爆弾による襲撃計画が練られ、実践的な効果を高めるために上層風発現の季節性の解明などが必要となっていた。科学者はしばしば、自らが発見した現象が何に利用されるか知らないものである。

シカゴ大学の研究チームがジェット気流の礎となる論文を発表したのは、大石が死ぬ僅か2~3年前だった。当時は科学論文の成果の伝達の遅れがあり、大石はこの新しい研究を知ることは無かったと考えられる。もし知ったとしたら、自らの先見性のもと観測施設を創設し、苦勞を重ねて実施した観測が間違っていなかったことに喜びを感じただろう。

しかし、国際的にはアメリカの研究者に遅れをとったことについて、無念だったのではないだろうか。  
林 陽生 (NPO シティ・ウオッチ・スクエア理事長)



放射能測定値 (市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ( $\mu\text{Sv/h}$ )  
今回は県外を計ってみました

11/16	山梨県忍野八海	0.026
	山中湖パノラマ台	0.019
	富士吉田バナH人工公園	0.042
	“ 公園奥の林	0.025
11/23	東京ディズニーランド	0.069
	浦安市内のホテルの中	0.080

▲第22回 ふじさわ環境フェア  
一緑と人にやさしいまちづくり

12/9 (土) 9:50~ 藤沢市民会館  
展示 体験 環境クイズ 学習会ほか スタンプラリーで景品が! 包丁研ぎ 石けんづくり 藤沢炒麺など飲食ブースも!

主催 藤沢市・藤沢環境フェア実行委員会

▲電気イロイロ講座 市民会館第3会議室  
12/9 13:30-14:30

主催: 藤沢サンエナジー



▲ふじさわ不戦の誓い平和行動

12月9日 (土) 13:00-15:00

藤沢駅北口サンパール広場

うたや踊り、スピーチ、パフォーマンス

主催 実行委員会 090-9019-1350

▲藤沢市役所新庁舎~内覧会~

2018年1月から開始の新庁舎を見学しよう

日時: 12月17日(日) 10:00-16:00

予約不要

▲葉山ビーチウォーキング

葉山港からしおさい博物館まで歩き、砂浜や磯の観察して楽しみます

18年1月14日 (日) 10:00 葉山港集合

参加費 大人300円 子ども100円

主催 パパラギ海と自然の教室

詳細は☎090-7170-6761 武本まで

▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 12月15日(金) 10:00~

市民活動六会プラザ

《編集後記》 やっと市役所新庁舎が完成し来年1月から移転され、タコ足だった庁舎が解消される。広大な市庁舎には会議室もあり団体の会議などに貸し出しされる。会議や学習会の場所が少なかったのが市民にとってはとても期待している。コミュニティの場として多いに活用したい。ただ使用料はバカにならないのでよく調べてからに。使用時間は午前、午後、夜の区分で最低1000円は高い?!。(H)